

第12回「東海財界倶楽部」例会 南雲吉則氏を招いて開催

平成二十八年二月二十六日、第一二回「東海財界倶楽部」例会が開催された。同会は東海地方で活躍する経営者を中心とした異業種交流会。当日はテレビ、雑誌などでおなじみのナグモクリニツク南雲吉則総院長を講師に招いて実施。親睦会などが行われた。

二月二十六日、フレンチレストラン「ラ ポルト マルセイユ」

で、第一二回「東海財界倶楽部」例会が開催された。当日は正会員・準会員を含め中部地区で活躍する経営者ら約三〇名が出席。

午後六時三十分から、いつもとは違う形で始まった同会は、始めに乾杯挨拶を駐名古屋大韓民国総領事館朴煥善総領事が「南雲吉則先生のノウハウを学べる貴重な時間をいただきました。皆様が順風

満帆な一年になりますように」と挨拶。

続いて南雲吉則総院長による「命のプロジェクト」と題した講演に移った。「ナグちゃんデー」その第一声で、参加者から笑い声が聞こえるなど、肩の力を抜いた状態で南雲氏の人生観を語った。

「私が医者になった頃、乳がんを専門にしている医者はいなかった。私の父が美容外科を作ったパイオニアでした。高校生の頃、例



講演する南雲吉則氏

に漏れず反発しましたが、大人とケンカするには大人と同じルールでケンカしなければならぬと気づき、医者を目指すことに。順調に多くの成果を出していましたが、軽くあしらわれた。その後も努力をつづけ、東京千代田区に七階建てのビルを買い、完成したら報告しようとした矢先、親父は死んでしまった。子供の頃を思い出し、偉大さをそのとき理解しました。感謝する前に逝ってしまった。その時、私のできること、癌の患者を三分の一にすると決めて、頑張っています」

講演の後、食事会へ移り、会場であるラポルトマルセイユの特徴である健康と美のスタイルをデザインした「低糖質&グルテンフリー」の料理、笑顔があふれるベジデコサラダ、Dr・ナグモサラダ赤の野菜とウッドを使って、など七品を和やかな空間で楽しんでいた。途中、南雲氏によるサラダを仕上げるなどサプライズもあり、多くの参加者が、普段の食に関心を持ち南雲氏に質問をする人も多くいた。